

出雲市環境総合計画 概要版

《計画策定の趣旨》

出雲市では、「出雲市環境基本計画」及び「出雲市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、これまで環境保全の取組、地球温暖化対策の推進を図ってまいりました。

近年では、世界的に地球温暖化の危機が高まる中、我が国においても、2050年カーボンニュートラルなど脱炭素社会実現を表明するとともに、海洋ごみや食品ロスなど、地球規模での新たな課題も顕著になっています。

出雲市においても、ゼロカーボン宣言を行い、地域脱炭素に向けて取り組むとともに、令和4年8月にはトキの放鳥候補地に選定され、環境にやさしいまちづくりに向けた一層の取組が必要となっています。

こうした背景を踏まえ、令和4年度で期間満了を迎える上記2つの計画を統合し、新たに「環境総合計画」を策定することで、脱炭素社会、循環型社会及び自然共生社会の実現をめざします。

環境基本計画

+

地球温暖化対策実行計画

統合

環境総合計画

【基本的事項】

① 計画の期間

令和5年度(2023) ～ 令和12年度(2030) 8年間

② 環境の将来像

神話から未来へと 環境をともに守り つなぐまち・出雲

③ 施策の体系

基本目標	施策の柱	推進する施策
1【脱炭素社会構築】 ゼロカーボンシティ実現に向け チャレンジするまち	1-1 地球温暖化対策	◆省エネルギーの推進 ◆再生可能エネルギーの導入推進 ◆環境にやさしい交通手段の推進 ◆森林整備による二酸化炭素吸収源の確保 ◎気候変動への適応策
2【循環型社会構築】 「もったいない」の心で築く 3Rのまち	2-1 3Rの推進	◆3Rの推進 ◆廃棄物の適正処理の推進
3【自然環境】 トキが飛び交う 自然豊かなまち	3-1 森・里・川・海の保全と 活用	◆森林と農地の保全と活用 ◆水環境・水辺環境の保全と活用 ◆海を守る取組
	3-2 生物多様性の保全	◆野生動植物との共生 ◆豊かな自然の保全と活用
4【生活・快適環境】 誰もが健康で 快適に暮らせるまち	4-1 健康に暮らせる環境 の保全	◆大気環境の保全 ◆その他生活環境の保全
	4-2 快適環境の確保	◆景観保全と緑地の確保 ◆環境美化の推進
5【環境保全活動】 ともに学び行動する 環境意識が高いまち	5-1 環境学習・環境保全 活動の推進	◆環境学習機会の充実 ◆環境保全活動の推進
	5-2 環境情報の発信と共 有	◆環境情報発信の充実 ◆環境啓発イベントの推進

基本目標 1 脱炭素社会の構築 ゼロカーボンシティ実現に向け チャレンジするまち

CO₂ 排出量の削減目標

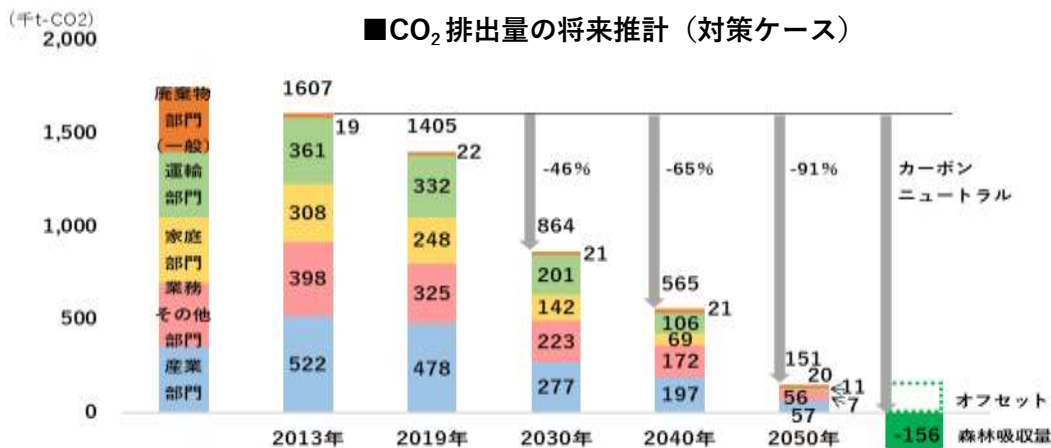
年度	削減目標	国目標（参考）
2030年度	46%削減	46%削減
2040年度	65%削減	—
2050年度	カーボンニュートラル	カーボンニュートラル

※カーボンニュートラル…温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること(CO₂をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること)

削減目標設定の考え方

本市の削減目標設定にあたり、「現状趨勢」「電力排出係数の低減」「市全体の取組（市・市民・事業者による削減取組）」による削減見込量を積み上げ、目標年度の CO₂ 排出量を設定します。

なお、現時点で実施が可能な取組による削減見込量を積み上げており、今後、期待される技術革新やGX（グリーントランスフォーメーション）による成長分野の取組、新たな知見などによる効果が見込まれる場合は必要に応じて取組に追加していきます。



CO₂ 排出量削減に関する重点取組

①省エネルギー対策

●ZEB・ZEHの導入促進

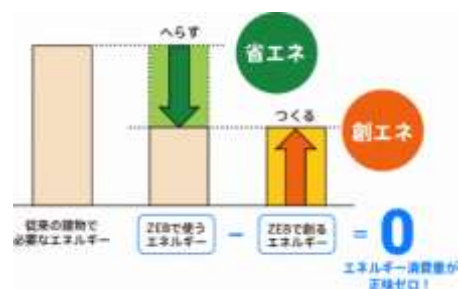
※ZEB(ゼブ)…net Zero Energy Building:「エネルギー収支をゼロ以下にする建物」という意味。快適な室内環境を実現しながら、建物の断熱化、高气密化などにより消費するエネルギーを減らし(省エネ)、太陽光発電などによりエネルギーを創ることで(創エネ)、エネルギー消費量を正味でゼロにします。


※ZEH(ゼッチ)…net Zero Energy House:「エネルギー収支をゼロ以下にする家」という意味。内容は、ZEBと同じです。

●省エネルギー改修の促進

●公共施設の省エネルギー化

●省エネルギー機器導入の促進



<p>② COOL CHOICE の推進</p>	<p>●COOL CHOICE（クールチョイス）の取組の促進</p>  <p>温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買い換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」をしていくという取組</p> <p>エネルギー使用量が削減でき、家計の負担が軽くなります。 温室効果ガスの排出を削減し、地球環境保全に貢献できます。</p> <p>●省エネルギー行動の促進 ●環境配慮行動にポイント制度導入の検討 ●公共交通機関、徒歩や自転車利用の促進 ●エコドライブ運動の促進 ●その他（環境マネジメントシステムの普及促進など）</p>																																		
<p>③再生可能エネルギーの導入</p>	<p>【再生可能エネルギーの導入目標(設備容量)】</p> <table border="1" data-bbox="587 680 1305 1043"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th>現状 (kW)</th> <th colspan="3">目 標 (kW)</th> </tr> <tr> <th>2022年3月末</th> <th>2030年度</th> <th>2040年度</th> <th>2050年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光発電</td> <td>94,265</td> <td>136,000</td> <td>217,000</td> <td>390,000</td> </tr> <tr> <td>風力発電</td> <td>80,247</td> <td>81,000</td> <td>162,000</td> <td>243,000</td> </tr> <tr> <td>バイオマス発電</td> <td>2,214</td> <td>5,500</td> <td>7,500</td> <td>9,500</td> </tr> <tr> <td>中小水力発電</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>900</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>177,326</td> <td>223,100</td> <td>387,400</td> <td>645,200</td> </tr> </tbody> </table> <p>●再生可能エネルギーの導入促進 ●地域新電力会社「いずも縁結び電力(株)」との連携 ●再生可能エネルギーの地産地消の取組の促進 ●環境に配慮した電力の調達 ●再生可能エネルギー発電事業者の誘致 ●公共施設における再生可能エネルギー設備の導入 ●その他（水素社会への取組など）</p>	種別	現状 (kW)	目 標 (kW)			2022年3月末	2030年度	2040年度	2050年度	太陽光発電	94,265	136,000	217,000	390,000	風力発電	80,247	81,000	162,000	243,000	バイオマス発電	2,214	5,500	7,500	9,500	中小水力発電	600	600	900	2,700	合計	177,326	223,100	387,400	645,200
種別	現状 (kW)		目 標 (kW)																																
	2022年3月末	2030年度	2040年度	2050年度																															
太陽光発電	94,265	136,000	217,000	390,000																															
風力発電	80,247	81,000	162,000	243,000																															
バイオマス発電	2,214	5,500	7,500	9,500																															
中小水力発電	600	600	900	2,700																															
合計	177,326	223,100	387,400	645,200																															
<p>④次世代自動車の導入</p>	<p>●次世代自動車の導入促進 ※次世代自動車…ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車 ●充電等設備の整備促進 ●その他（公共交通機関、徒歩や自転車利用の促進など）</p>																																		
<p>⑤豊かな森林づくりの推進</p>	<p>●公益的な機能が発揮できる森づくり支援 ●循環型林業の実現のための支援 ●有効な森林整備のための森林資源情報等の把握 ●市産材利用の推進 ●木質バイオマスの利用促進（林地残材の活用）</p>																																		

気候変動への適応策

影響が懸念される6つの分野

- ①農林水産業
- ②水環境・水資源
- ③自然生態系
- ④自然災害
- ⑤健康
- ⑥経済活動・市民生活

基本目標2 循環型社会構築 「もったいない」の心で築く 3Rのまち

3Rの推進

3Rの推進	<ul style="list-style-type: none">◇ リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の推進◇ 環境にやさしい製品の普及と利用促進◇ その他(廃プラスチック処理のあり方に関する検討など)
廃棄物の適正処理の推進	<ul style="list-style-type: none">◇ 分別の徹底と効率的な収集システム◇ ごみ処理施設等での適正処理◇ ごみ不法投棄等の対策

基本目標3 自然環境 トキが飛び交う 自然豊かなまち

森・里・川・海の保全と活用

森林と農地の保全と活用	<ul style="list-style-type: none">◇ 森林・里山の保全と活用(里山・森林保全活動等への積極的参加など)◇ 農地の適正管理と活用(環境保全型農業の推進など)
水環境・水辺環境の保全と活用	<ul style="list-style-type: none">◇ 水域への排水対策(生活排水対策の推進など)◇ 水辺環境の保全と活用(宍道湖のワイズ・ユースの推進など)◇ 広域連携による水質浄化の推進
海を守る取組	<ul style="list-style-type: none">◇ 海洋ごみ対策(海岸清掃活動の推進、海ごみゼロ啓発の強化など)◇ 海岸保全に向けた気運の醸成

生物多様性の保全

野生動植物との共生	<ul style="list-style-type: none">◇ 生態系を守る取組(希少野生動植物の保護、生息・生育地の保全など)◇ トキと人とが共生できる環境づくり
豊かな自然の保全と活用	<ul style="list-style-type: none">◇ 自然環境の保全と活用(国立公園・県立自然公園の保全と活用など)◇ 自然とのふれあいの機会の創出

基本目標4 生活・快適環境 誰もが健康で 快適に暮らせるまち

健康に暮らせる環境の保全

大気環境の保全	<ul style="list-style-type: none">◇ 車からの排気ガスの排出削減(脱炭素社会構築の取組との連携)◇ 大気汚染の防止(野外での不法なごみ焼却に対する監視・指導など)
その他生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none">◇ 騒音・振動・悪臭の防止◇ 暮らしやすい環境づくり(空き地・空き家の管理指導の徹底など)

快適環境の確保

景観保全と緑地の確保	<ul style="list-style-type: none">◇ 自然・歴史的景観の整備と保全◇ 公園の整備と利用促進◇ 花と緑のまちづくり
環境美化の推進	<ul style="list-style-type: none">◇ ごみのポイ捨て対策等の推進◇ 市民等美化活動の充実

基本目標5 環境保全活動 とともに学び行動する 環境意識が高いまち

環境学習・環境保全活動の推進

環境学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none">◇ 地域や学校教育等における環境学習・環境教育の推進◇ 環境学習拠点施設での学習機会・内容の充実と利用促進◇ 指導者の育成・確保
環境保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none">◇ 地域や団体、事業者が取り組む環境保全活動の拡充に向けた支援など

環境情報の発信と共有

環境情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none">◇ デジタルを活用した情報発信の充実◇ 多言語使用など外国人への適切な情報発信など
環境啓発イベントの推進	<ul style="list-style-type: none">◇ ストップ地球温暖化フェアなどの啓発活動の充実◇ 地域団体や環境団体が実施する啓発イベントの推進など

